

株主通信

2013年度上半期決算のご報告 2013.4.1-2013.9.30

株式会社インターネットイニシアティブ 証券コード: 3774



Internet Initiative Japan

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年6月に代表取締役社長に就任いたしました勝栄二郎でございます。

ITの分野において、一方ではスマートデバイスの世界的な普及、他方ではクラウド技術の向上とビッグデータの活用、場合によってはこのふたつが結びつくことによって、現在色々な分野で新しいビジネスモデルが構築されつつあり、また、医療やロボットなど様々な最先端分野においては技術革新が進展しています。その意味において、今やインターネットを通じて社会・経済・政治が変わりつつあり、国内で最初の商用インターネットサービスプロバイダーとして創業した弊社にとっては、まさに大きなビジネスチャンスであります。今後も今まで培ってきた高い技術力を土台に国内外の事業展開を拡大強化していく所存です。

2013年度上半期におきましては、緩やかな景気回復を背景とした企業の情報システム投資意欲の回復や、企業内情報システムのアウトソース化傾向が継続して見られました。このような状況の中、弊社グループのシステムインテグレーションの受注

状況は、システム構築の需要が強く見られ、大口案件を含む受注が順調に積み上がりました。ネットワークサービスにつきましては、通信トラフィックの増加によるインターネット接続サービスの需要増加、クラウドコンピューティングの利用規模拡大、アウトソーシングサービスの継続的な契約獲得等にて概ね順調に推移をしましたが、SNSゲーム及び通信関連等の一部の大口顧客からの個別減収の影響がありました。販売管理費は前年同期比で増加いたしました。これはネットワークサービス及びシステムインテグレーション事業の中長期的な規模拡大を視野に入れた人員増強等によるものです。弊社の売上は季節変動により下半期に集中し、一方で前述の通り上半期から固定的費用は増加し、これらにより、2013年度上半期の連結業績は、売上高544.0億円(前年同期比6.4%増)、営業利益30.1億円(前年同期比7.8%減)、当社株主に帰属する当期純利益22.1億円(前年同期比9.9%増)となりました。システムインテグレーションの市場環境はリーマンショック以降の投資抑制との状況から復調しており、また上半期に個別要因により鈍化したネットワークサービス売上についても引き続き

積み上がっていくものと想定しております。中長期的な成長を視野に入れ、更に新たな事業連携、相乗効果の高いM&A等も含め積極的にビジネスリソースと事業規模の拡大機会を模索し、一層の企業価値向上に努めていく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますよう何卒宜しく願い申し上げます。



代表取締役社長 兼 COO 勝 栄 二 郎

2013年度上半期 連結業績について

2013年度上半期の営業収益(売上高)は、前年同期比6.4%増の544.0億円となりました。これは主に、システム構築案件の順調な積み上げによるシステムインテグレーション売上高の増加及び、通信トラフィックの増加、クラウドコンピューティングサービスの利用規模拡大、アウトソーシングサービス契約の継続獲得等によるネットワークサービス売上高の増加によるものです。

営業利益につきましては、前年同期比7.8%減の30.1億円となりました。これは主に、ネットワークサービスにおけるSNSゲーム及び通信関連等の一部の大口顧客からの個別減収による影響及び、事業規模拡大に向けて人員強化等を行ったことによる販売管理費の増加等によりです。

当社株主に帰属する当期純利益は、為替差益、持分法投資利益の計上等にて、前年同期比9.9%増の22.1億円となりました。

サービス別業績

● ネットワークサービス

	2012年度上半期	2013年度上半期	(前年同期比)
■ 売上高	322.6億円	336.1億円	(4.2%増)
■ 売上総利益	68.8億円	71.5億円	(3.9%増)

- 通信トラフィック増加、クラウドサービス利用規模拡大
- SNSゲーム及び通信関連等の一部大口顧客からの個別減収

● システムインテグレーション(機器販売含む)

	2012年度上半期	2013年度上半期	(前年同期比)
■ 売上高	177.7億円	194.3億円	(9.3%増)
■ 売上総利益	31.3億円	29.8億円	(4.7%減)
■ システム構築受注金額	83.0億円	104.7億円	(26.1%増)
■ システム構築受注残高	48.0億円	62.6億円	(30.4%増)

- 大口含むシステム構築案件の受注好調
- システム構築案件の規模拡大に伴う外注関連及び人件関連費用増加

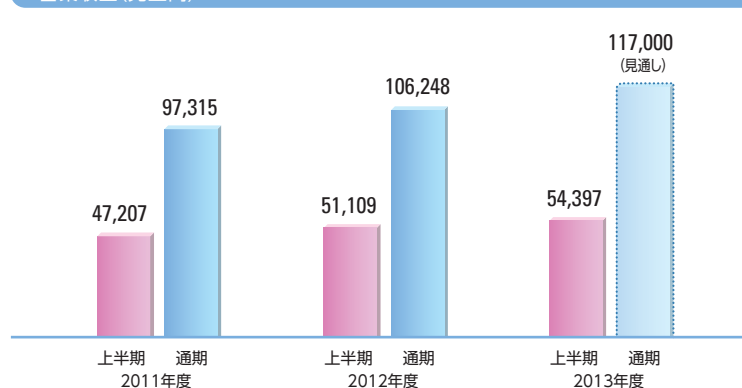
● ATM運営事業

	2012年度上半期	2013年度上半期	(前年同期比)
■ 売上高	10.8億円	13.6億円	(2.8億円増)
■ 売上総利益	1.4億円	3.0億円	(1.6億円増)

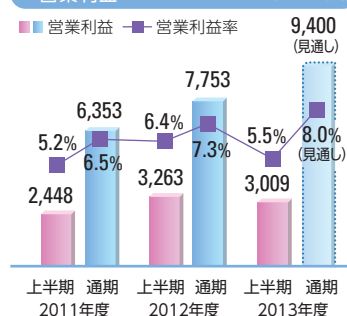
- 設置済みATM台数の増加

主要業績指標の推移

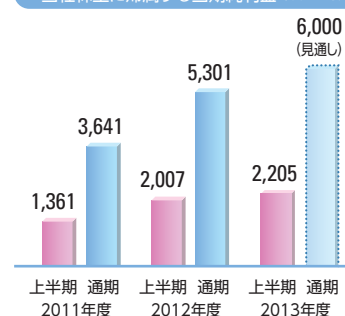
● 営業収益(売上高)



● 営業利益

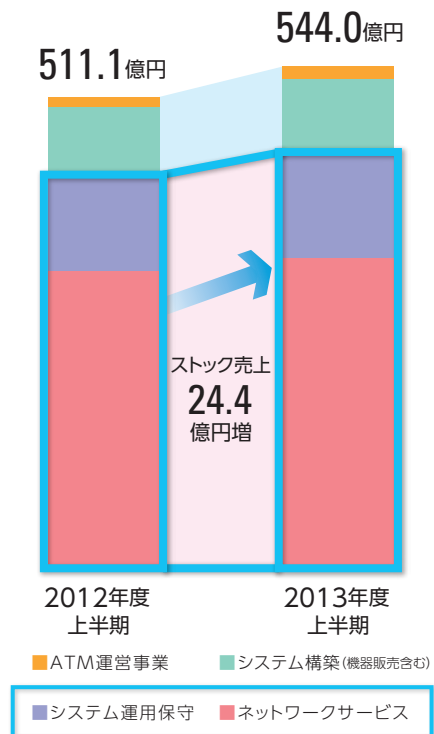


● 当社株主に帰属する当期純利益



サービス別売上高推移

ストック売上 サービスを継続的に提供することで恒常的な売上が月次計上されるもの



連結業績ハイライト (単位:百万円)

	実績			公表見通し		
	2012年度 上半期	2013年度 上半期	前年同期比	2013年度 上半期	上半期実績見通し比	2013年度 通期
営業収益(売上高)	51,109	54,397	6.4%増	54,500	99.8%	117,000
営業利益	3,263	3,009	7.8%減	3,400	88.5%	9,400
税引前当期純利益 *1	3,176	3,348	5.4%増	3,200	104.6%	9,000
当社株主に帰属する当期純利益	2,007	2,205	9.9%増	2,000	110.2%	6,000
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円) *2	49.51	51.66	4.3%増	46.86	110.2%	135.42

*1 法人税等及び持分法による投資損益調整前当期純利益を指します。

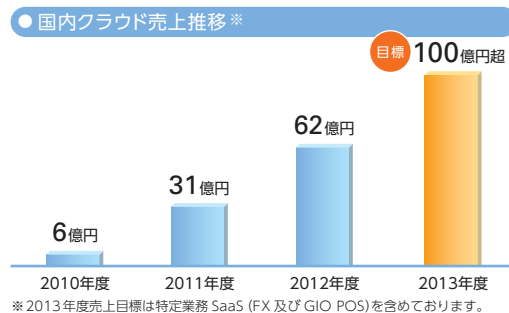
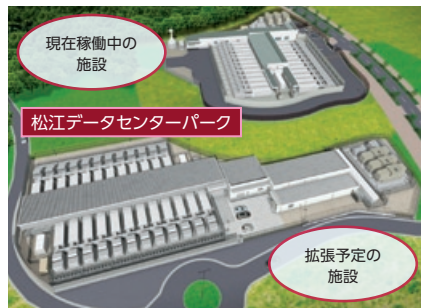
*2 2012年度上半期の実績は、2012年10月1日付の株式分割に伴う影響を加味した数値を記載しております。

2013年度上半期の公表見通しは、2013年7月及び8月に実施した公募増資及び第三者割当増資による普通株式の増加の影響を加味した数値を記載しております。

クラウドサービスの事業進展



当社グループの注力事業であるクラウドサービス「IIG GIO(ジオ)」の2013年度上半期の売上高は47億円となり、前年同期の売上高26億円より着実に成長しております。米国の「IIG GIO USサービス」及び中国の「IIG GIO CHINAサービス」に加え、2013年8月には欧州の「IIG GIO EUサービス」を開始し、海外でも国内と同等レベルのクラウドサービス提供拡大に向け、積極的に展開しております。当年度下半期には、外気冷却コンテナ型データセンター「松江データセンターパーク」の拡張が完了し、更なる事業拡大を展望しております。引き続き企業のニーズに応じた信頼性及び付加価値の高いサービスラインアップを拡充していくこと等により、通期では100億円超の売上を目標としております。

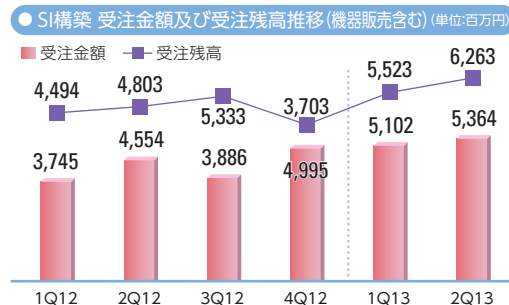
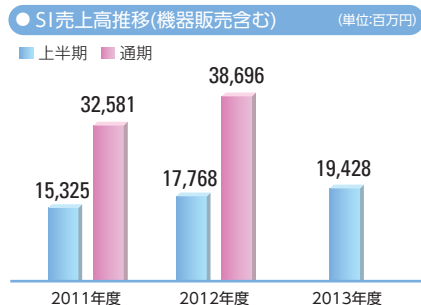


システムインテグレーションの状況

2013年度上半期におきまして、システムインテグレーション(以下SI)の受注状況は、企業の情報システム投資意欲の回復基調により順調に推移いたしました。システム構築案件につきましては、従来の中小規模案件に加え、億円超の大口案件の獲得も見られ、当年度下半期に向けて一層の事業進展が期待されます。

【SI構築 案件例】

- ▶ 基幹システムインフラ基盤更改
- ▶ メールシステム構築
- ▶ WEBシステム更改
- ▶ ネットワークリプレイス(有線LAN・無線LAN構築)
- ▶ ECサイト基盤構築

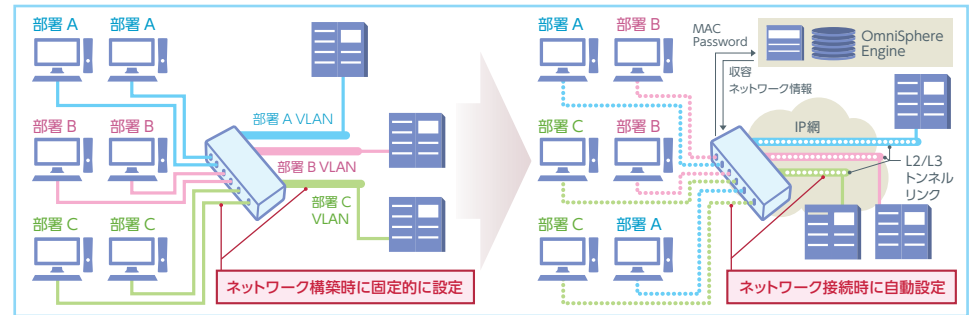


SDNへの取り組み



2012年4月に(株)ACCESSと共同で設立した(株)ストラトスフィアでは、SDN(Software Defined Network)の開発に取り組んでおります。SDNとは、ネットワークをソフトウェアで制御することにより、柔軟なネットワークの構成や機能等の設定を可能とする将来に向けた最新の技術です。

SDNを用いたソリューションとして、2013年8月より「OmniSphere(オムニスフィア)」の提供を開始いたしました。本ソリューションにより、従来、企業オフィス内において組織変更やレイアウト変更のたびに必要とされたLANの再構築・再設定の自動化が可能となり、企業ネットワークの運用管理負荷を大幅に削減できます。



事業拡大に向けて

ITシステムの利用拡大、IT技術の高度化といった大きな流れの中で、インターネットを流れる情報量やクラウドとの利用形態は大きく進展しています。当社グループは、これを非常に大きなビジネスチャンスと捉え、事業規模の一層の拡大が課題であると考えております。事業成長を加速させるべく、2013年6月より勝代表取締役社長兼COOを新たに迎え、CEO、COO体制といたしました。また、成長のための資金を調達すべく、2013年7月に約170億円の公募増資を実施いたしました。調達した資金を有効活用し、既存事業の更なる拡大を図りつつ、相乗効果の高い事業提携、M&Aの遂行も視野に入れ、企業価値向上に努めてまいります。



◆ 会社概要/株式情報

会社概要 (2013年9月30日現在)

会社名	株式会社インターネットイニシアティブ
本社所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング TEL: 03-5259-6500 E-mail: ir@iij.ad.jp URL: http://www.iij.ad.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 2006年12月上場(証券コード:3774) 米国ナスダック 1999年8月上場(ティッカーシンボル:IJJI)
設立年月日	1992年12月3日
資本金	22,958百万円(単体)
連結従業員数	2,311名
事業内容	インターネット接続、アウトソーシング、WANサービスの提供、 ネットワークシステムの構築及び保守運用、通信機器の開発及び販売、 ATM運営事業
国内支社・支店	関西支社、名古屋支社、九州支社、札幌支店、東北支店、北信越支店、 中四国支店、横浜営業所、豊田営業所、沖縄営業所

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂 7-10-11 TEL 0120-232-711(通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉 2-8-4 TEL 0120-782-031(通話料無料)
公告方法	電子公告により行う
公告掲載URL	http://www.iij.ad.jp/ ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。

●ご注意 株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株式情報 (2013年9月30日現在)

発行可能株式総数	75,520,000株
発行済株式総数	46,697,800株
株主数	9,251名

大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本電信電話株式会社	10,095,000	21.6
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	2,129,789	4.6
伊藤忠商事株式会社	2,086,000	4.5
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	2,040,000	4.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,844,900	4.0
鈴木幸一(※1)	1,802,900	3.9
MORGAN STANLEY & CO. LLC	1,279,100	2.7
第一生命保険株式会社	1,273,000	2.7
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY RECEIPT HOLDERS(※2)	1,234,395	2.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	927,700	2.0

(※1) 当社代表取締役会長 鈴木幸一が100%所有する株式会社KS Holdingsは、当社株式に係る同氏の共同保有者であり、同社は当社株式810,000株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合:1.7%)を所有しております。

(※2) THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY RECEIPT HOLDERSは、預託銀行にて当社の株式を預託し、当社米国預託証券を発行するにあたっての預託名義であり、同所有株式数は、発行されている当社米国預託証券に相当する預託株式数です。

株式所有者別分布図



● 金融機関 18.9% ● 証券会社 1.4% ● その他の法人 41.0%
● 外国法人等(個人含む) 20.5% ● 個人・その他 16.6% ● 自己名義株式 1.6%

Webサイト 「株主・投資家向け情報」のご案内

当社の事業内容や最新情報についてご興味をお持ちの株主・投資家の皆様は、ぜひ当社のホームページをご覧ください。決算説明資料や開示資料のほか、プレスリリースやFAQ集等のコンテンツを充実させております。

URLは
こちら

<http://www.iij.ad.jp/ir/>

